

物流を支える

1960年創業、トラック・フォークリフトなど輸送機器の試作から量産部品・補用部品を製作する会社です。いずれも物流の大黒柱であり、例えばトラックにおいては、各種計器類を収めるインストルメントパネル周辺の部材等を手がけます。例えば、物流の大動脈の一つとして日々無数のトラックが行き交う東京・大阪間は、高速道路で約6時間、一般道なら10時間以上かかる道程ですが、それだけの長時間、自身や周囲の安全に目を配りつつ、車両の操縦を行うドライバーにかかる負荷は想像を絶するものです。その負荷を大きく軽減し、安定した操縦を助ける為、操縦システムも日々進化を遂げていますが、それらのシステムを過酷な外部環境から守る、必要不可欠な様々なパーツを供給する事で、コロナ禍において、一層重要さを増す物流を支えています。



ダイヤ工業
株式会社